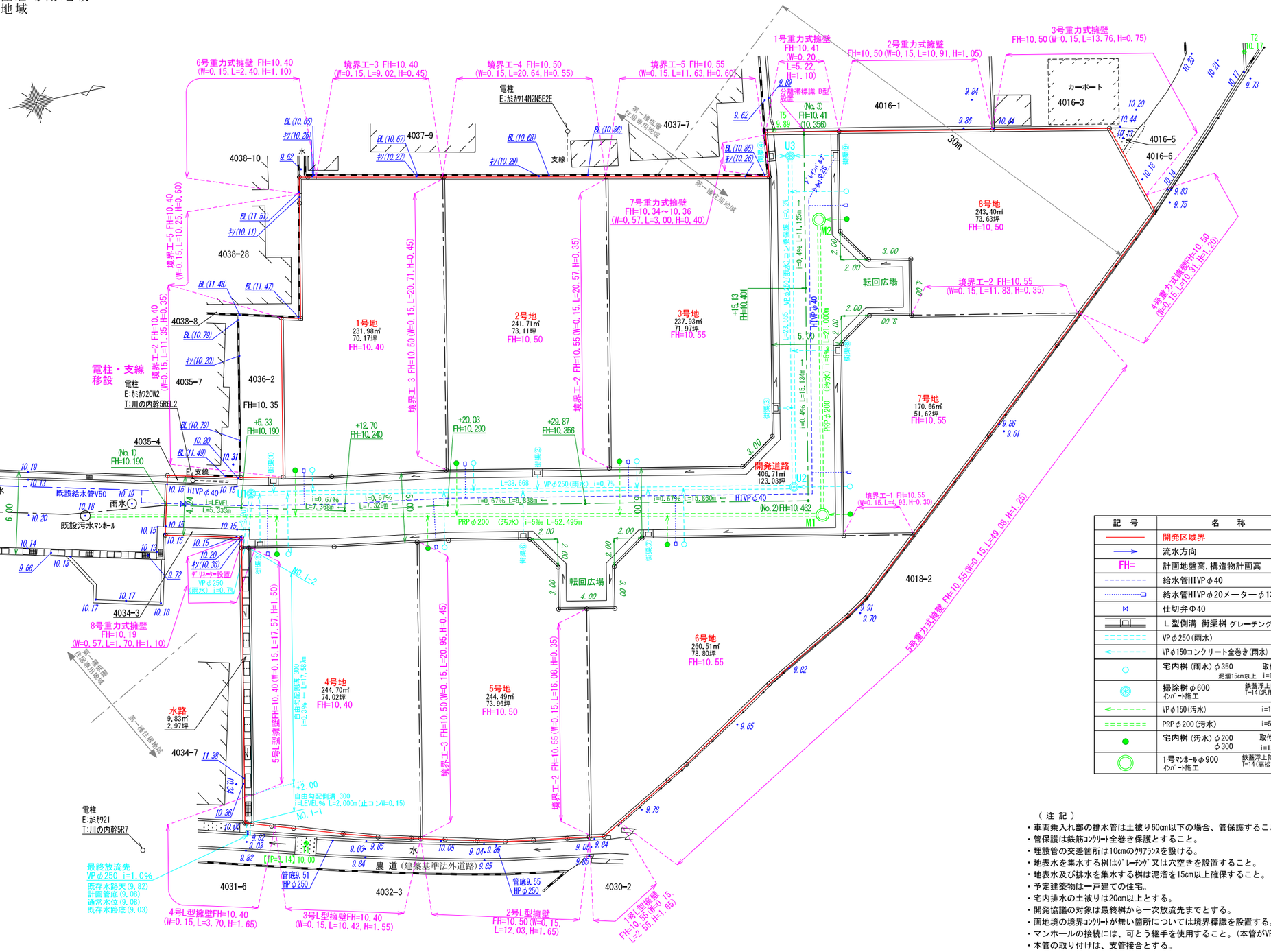
土地の所在	高松市木太町字上川東4018-1，4018-4，4036-1，4034-3の一部，4035-4の一部

土　地　利　用　計　画　図

用途地域
第一種低層住居専用地域
第一種住居地域



記　号	名　称	
———	開発区域界	
——→	流水方向	
FH=	計画地盤高，構造物計画高	
- - - -	給水管HIVPφ40	
·-·-·-□	給水管HIVPφ20メーターφ13	
⋈	仕切弁Φ40	
═══	L型側溝 街渠桝 グレーチングT-14	
═══	VPφ250（雨水）	
←═══	VPφ150コンクリート全巻き（雨水） i=1.0%以上	
○	宅内桝（雨水）φ350 泥溜15cm以上	取付管VPφ150 i=1.0%以上
⊛	掃除桝φ600 ｲﾝﾊﾞｰﾄ施工	鉄蓋浮上防止鍵付 T-14（汎用型）
←- - -	VPφ150（汚水）	i=1%以上
←═══	PRPφ200（汚水）	i=5‰
●	宅内桝（汚水）φ200 φ300	取付管VPφ150 i=1.0%以上
◎	1号ﾏﾝﾎｰﾙφ900 ｲﾝﾊﾞｰﾄ施工	鉄蓋浮上防止鍵付 T-14（高松市型）

（注記）
- 車両乗入れ部の排水管は土被り60cm以下の場合、管保護すること。
- 管保護は鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ全巻き保護とすること。
- 埋設管の交差箇所は10cmのｸﾘｱﾗﾝｽを設ける。
- 地表水を集水する桝はｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ又は穴空きを設置すること。
- 地表水及び排水を集水する桝は泥溜を15cm以上確保すること。
- 予定建築物は一戸建ての住宅。
- 宅内排水の土被りは20cm以上とする。
- 開発協議の対象は最終桝から一次放流先までとする。
- 画地境の境界ｺﾝｸﾘｰﾄが無い箇所については境界標識を設置する。
- マンホールの接続には、可とう継手を使用すること。（本管がVP及びPRPの場合）
- 本管の取り付けは、支管接合とする。
- 図面内の高さの表記は任意高さとし、T1で標高（T.P.表示）換算している。
- 開発道路内に電柱を設置しない。
- 取り付け管の勾配は1%以上とし、断面方向の接続位置は本管の中心より上方とする。
- ﾏﾝﾎｰﾙでの管きょ接続の削孔同士の間隔（残り代）は内面側で10cm以上確保する。

縮　尺	1／300

開発許可 年　月　日	
第　　号	令和　年　月　日
申請者	
代表取締役	株式会社MIRAISE 福本　剛士
作成者 住所・氏名	
土地家屋調査士	高松市国分寺町新居一四〇四番地四 岡崎　浩一